

「安全・安心な施設」「主体的な育ちを支える施設」「保護者の立場に立った多様な保育ニーズに対応した施設」「持続可能な社会の実現に貢献する施設」についての提案



図11 北側外観イメージ



図13 遊戯室イメージ



図12 全体イメージ



図14 各遊具遊具コーナーイメージ

テーマ1 「安全・安心な施設」
一体感あふれる空間の中、姿が見え笑顔がつながり
災害にも強い安全安心な保育所を目指します

1-1 安全安心をサポートするづくり

■安全性に配慮した管理区分【図17】

- ・屋外にフェンスや門扉を設け、不審者の侵入や子どもの飛び出しを防止【図15 管理区分①】
- ・館内からの抜出しを防ぐ管理区分も設け安全に配慮【図15 管理区分②】



図17 やちよ保育園 安全な乳児ガーデン

■わかりやすく見通しがよいプラン

- ・合理的でわかりやすいプランが安全への第一歩となるため、乳児や2歳児、3～5歳児の生活空間を分け、それぞれの専用ガーデンや園庭を設け、明かなゾーニングで生活の環境を整備【図17】



図18 甲田いつみこども園 中央ホール吹抜

- ・当保育所は敷地面積の関係から2階建となる。中央に遊戯室を設け上部を吹抜とする事により、全体的な見通しの良いつくりで機敏な対応が可能【図13・18】

■気配を感じ見守りやすいづくり

- ・職員室は建物北側の1階玄関横に設け、外部や人の出入り、館内全体や園庭の気配がわかるつくりで見守りが容易【図15 ㉑】

■ケガを防ぐづくり

- ・建具には指づめ防止策、滑りにくい床、内装の凸面の面取り、バリアフリー対策等を行いこどものケガを防止

1-2 過ごしやすい環境づくり

■風・光を感じる

- ・風が通り抜け、光が降り注ぐ室内レイアウト

■感染症対策

- ・ソーシャルディスタンスを常に念頭に置き、広めの部屋づくりや合理的なレイアウトと換気量の増強で感染症を防止

■夏の外遊び対策

- ・園庭の一部、砂場、プール上部に日除けテントを設け、夏の強烈な日差しに対応

1-3 災害に強いづくり

■水害に強い

- ・西側駐車場やテラスは氾濫水位以上にコンクリート壁を立ち上げ、出入口は防水扉を設置して氾濫した水が浸入しない仕組み【図19】
- ・1階床レベルは河川敷道路よりも高いレベルとし、馬洗川が氾濫しても室内に水が浸入しないつくり【図20 ㉒】
- ・キュービクル等重要設備機器は2階レベルに設け、万全を期す【図20 ㉓】

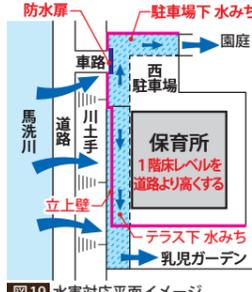


図19 水害対応平面イメージ

■火災に強い

- ・鉄筋コンクリート造をベースとし火災に強いづくり

■避難がスムーズにできるづくり

- ・外部側に連続したテラスや多方面に避難できるつくりとし、法定以上の避難ルートを確認【図15】



図20 断面イメージ

テーマ2 「主体的な育ちを支える施設」
子どもたちの五感を刺激し
豊かな心身を育む保育所を目指します

2-1 心がときめき通う事が楽しくなるづくり

■ぐるぐる回れる【図15 ㉑】【図16 ㉑】

- ・廊下は1・2階とも回遊型の廊下でぐるぐる回れる動線とし各所にスポットを設けて、子どもの楽しさが倍増するつくり

■遊びを喚起する動の場【図14】

- ・子どもの成長にとって『あそびを喚起する動の場』は重要で、園庭や遊戯室に加えプール付テラスやネット遊具コーナーを検討

■変化に富んだ外まわり【図15 園庭】

- ・自然は五感の宝庫と言われており、園庭に遊歩道をつくり【こぶ山・実りの畑・どんぐりのこみち・お花ばたけ】を設け、いろいろなあそびや体験が可能

2-2 チャレンジする気持ちが生まれるづくり

■高低差を活かす

- ・子どもは自分の目標に何としても進もうとする気持ちが成長を促し、高低差や段差を克服する事は恰好の目標となる。水害対策のために発生する建物と園庭の高低差を利用し、斜面・スロープ・滑り台を設け、子どもたちの感性を刺激【図15 ㉒】
- ・ネット遊具と上下を行き来できる筒状ネットで通常にないあそびや動線とし、チャレンジ精神を育成【図14・21】



図21 甲田いつみこども園 ネット遊具

2-3 子どもの心が落ち着くづくり

■静の場

- ・職員室近くに個室や多目的室を設け、発達支援の子どもや多人数に馴染めない子どもの心が落ち着く一時避難の場とする
- ・図書コーナーを設け、本への興味を増すとともに包み込むような場とする【図22】



図22 やちよ保育園 段々図書コーナー

テーマ3 「保護者の立場に立った多様な保育ニーズに対応した施設」
保護者に寄り添い、将来的にも様々な
対応が可能な保育所を目指します

3-1 保護者のニーズにこたえるづくり

■多用途なづくり

- ・玄関近くに子育て支援室・相談室・多目的室・個室を設け、多様なニーズに対応できるつくり

■待機児童の解消と変動する児童数への対応

- ・保育室はゆとりのある部屋づくりで、待機児童を解消
- ・幼児保育室は並びの2室とし、境壁は移動間仕切として、児童数の変動も多彩な利用方法に対応

■大型行事に対応可能なづくり

- ・遊戯室と廊下の仕切りはフルオープンとなるつくりとし、広がりのある発表会が開催可能。2階廊下も観覧スペースとして利用可能【図13】

- ・園庭は60mトラックの全周にテントが張れるスペースを確保し、運動会時のスムーズな運営が可能【図15 ㉑】

- ・館内でトラブルが発生した時に、回遊型廊下と適切な階段配置で、目的場所までの複数ルートの確保と短時間での対応が可能



図15 配置案1階平面イメージ

3-2 周辺の渋滞解消につながる外部動線

■歩車道の分離【図15】

- ・狭い北側道路沿いに歩道を確保し、メイン門扉まで続く歩道として歩行者の安全を確保【㉑】

■スムーズな駐車場動線【図15】

- ・北側にIN(交差点側)とOUT(北東道路側)を分離しスムーズな出入りが可能な15台分の駐車場を確保【㉒】
- ・西側に河川敷道路のレベルに極力合わせスムーズな出入りが可能な5台分の駐車場を確保【㉓】

■屋根付通路で送迎時間の短縮【図15】

- ・北及び西側とも管理用門扉から玄関まで屋根付通路とし、雨や雪の送迎をアシスト【㉔】

■合理的なバック動線【図15】

- ・西側駐車場に食材運搬車等の駐車スペースを確保【㉕】
- ・園庭や乳児ガーデンのメンテナンス用車動線を確保【㉖】

テーマ4 「持続可能な社会の実現に貢献する施設」
国連が推奨するSDGs(持続可能な開発目標)に沿って、
環境保護への対応や地域の想いが受け継がれる保育所を目指します

4-1 環境や未来につながる

■SDGsの理念を受けたいづくり

- ・SDGsに沿って親から子へ、子から孫へ思いが受け継がれ循環していく持続可能な建物を目指す。SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALSの目標のうち特に【図23】の項目に配慮

3	すべての人に健康と福祉を	完全バリアフリー。新鮮な空気を室内へ導入。敷地内には遊歩道、緑地、遊具を設け、憩いの場として利用が可能。
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	使用する電気の一部に太陽光など自然エネルギーによる電気を取り入れる。
8	働きがいも経済成長も	いきいきと働ける職場環境をつくり、子どもの地域愛の育成を後押しをし、ひいては地域経済に寄与。
11	住み続けられるまちづくりを	災害に強いつくりで、長期的に安心安全な利用が可能。この地で暮らす子育てでたくなる地域の心の拠り所を目指す。
13	気候変動に具体的な対策を	床下空間を有効利用した最小限のエネルギーで賄える空調システムを導入。高断熱を施した省エネに取り組み地球環境へ配慮します。
15	陸の豊かさを守る	地域産木材活用で、木材の持続可能なサイクルとCO2の固定化による地球温暖化防止に貢献。
17	パートナーシップで目標を達成しよう	地域の方に計画から完成まで見守って頂く機会を作り、たくさんの方とストーリーを共有。

図23 SDGs

■概算予算	
区分	概算工事費
建築工事費	468,000千円
電気設備工事費	76,000千円
新築	
機械設備工事費	89,000千円
外構工事費(圍籬・遊具等)	97,000千円
既存解体工事費	30,000千円
仮設仮設園庭等工事費	8,000千円
総工事費(税抜)	768,000千円
総工事費(税込)	844,800千円

■延床面積	
床面積	床面積
2階	540㎡
1階	855㎡
合計	1,395㎡
■屋外遊戯場面積	
床面積	床面積
園庭	1,260㎡
乳児テラス	240㎡
合計	1,500㎡

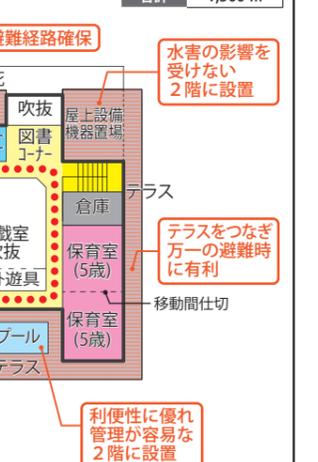


図16 2階平面イメージ

4-2 BCP・エコ・長寿命化に配慮

■事業継続性(BCP)とエコ、長寿命化を両立させたいづくり

- ・地震や水害等による機能低下を回避し事業の継続性を図って、エコや長寿命化に関する次の項目に配慮【図24】

■機能低下の最小限化及び維持化		
ア	1階床高さ	川土手道路よりも高い設定とし浸水防止
イ	敷地周辺壁壁	川側駐車場の出入口は防水扉設置 上記とあわせて多重化
ウ	地盤改良・地盤置換	建物及び周辺の液状化対応
エ	重要設備機器	2階レベル設置、浸水等による損傷防止 耐震基礎
オ	天井材	落下防止
カ	ガラス	飛散・落下防止
■エコロジー&エコノミー		
A	バルコニー	夏の直射光を防ぎ熱負荷の低減
B	採光	居室の自然採光確保
C	通風	風が抜けるルートを確認し熱負荷の低減
D	木材による内装	断熱保温性、調湿性、やわらかい光環境等に優れた木仕上げの採用
E	床下エアコン	冬の床暖房として安価な家庭用エアコンを床付近に設置床下に暖気送り
F	ガラス	複層ガラスによる熱負荷の低減
■長寿命化		
I	シンプルな形状	メンテナンスとチェックが容易となるシンプルな建物形状の採用
II	屋根	高耐久素材の勾配屋根をメインとし、防水改修削減・雨漏り防止
III	庇	大きく張り出した庇で外壁の雨による劣化を軽減
IV	外装材	高耐久材の採用

図24 BCP・エコ・長寿命化イメージ

4-3 児童の居住環境をサポート

■超ローコストの床暖房の採用

- ・床付近に家庭用小型エアコンを設け、床下空間の空調で、輻射冷暖房による居住域空調としてインシャル・ランニングコストとも大幅に削減【図25】

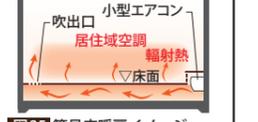


図25 簡易床暖房イメージ

4-4 自然素材の活用

■素材感が天然木を可能な限り使い、ぬくもり・やさしい手触り・やさしい音の響き・香りなど五感をやさしく刺激するつくり【図26】



図26 道の駅三つの里あきたかた木のキッズコーナー

(写真は全て弊社実績)